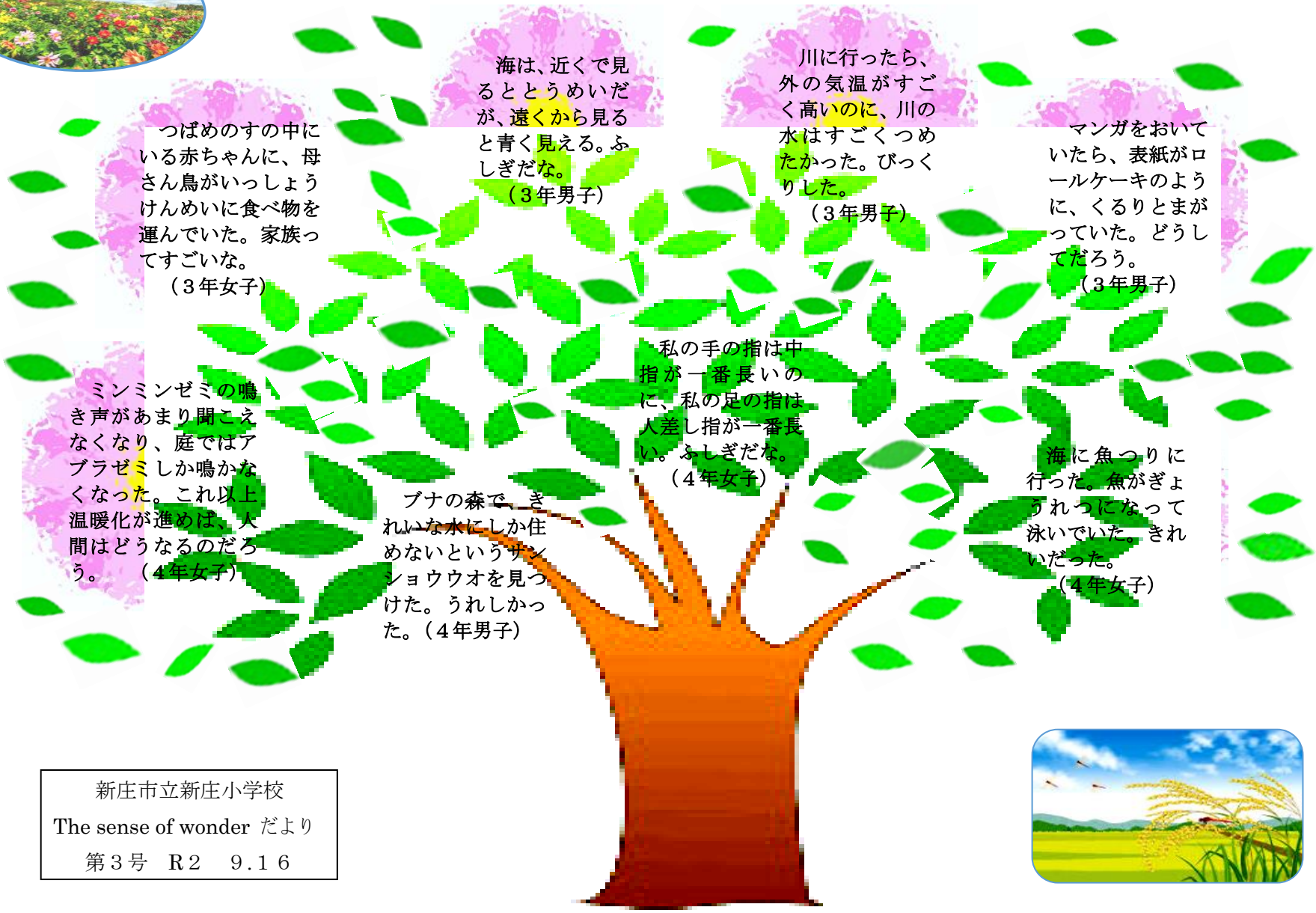
新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～8月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。



つばめのすの中にいる赤ちゃんに、母さん鳥がいっしょうけんめいに食べ物を運んでいた。家族ってすごいな。
（３年女子）

海は、近くで見るととうめいだが、遠くから見ると青く見える。ふしぎだな。
（３年男子）

川に行ったら、外の気温がすごく高いのに、川の水はすごくつめたかった。びっくりした。
（３年男子）

マンガをおいていたら、表紙がロールケーキのように、くるりとまがっていた。どうしてだろう。
（３年男子）

ミンミンゼミの鳴き声があまり聞こえなくなり、庭ではアブラゼミしか鳴かなくなった。これ以上温暖化が進めば、人間はどうなるのだろう。　（４年女子）

私の手の指は中指が一番長いのに、私の足の指は人差し指が一番長い。ふしぎだな。
（４年女子）

ブナの森で、きれいな水にしか住めないというサンショウウオを見つけた。うれしかった。（４年男子）

海に魚つりに行った。魚がぎょうれつになって泳いでいた。きれいだった。
（４年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第３号　R２　９.１６